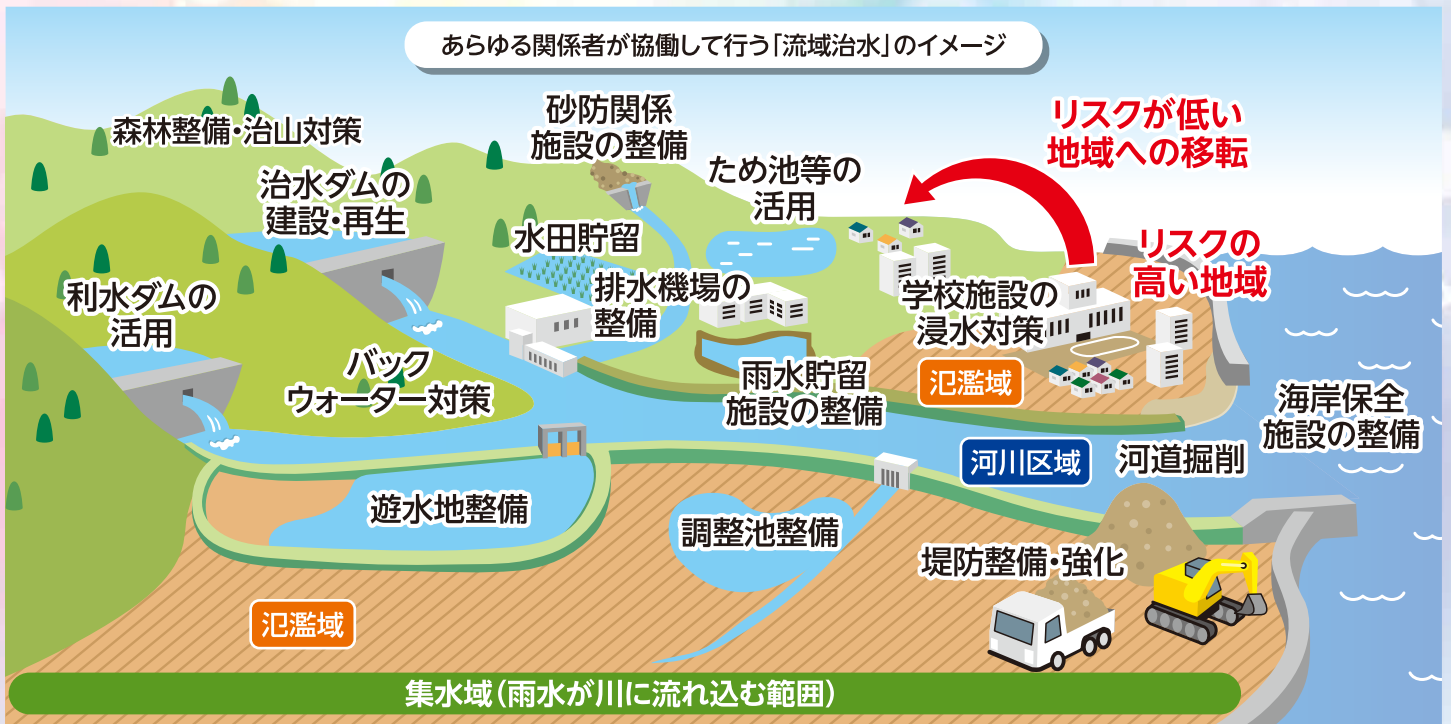


「最上川流域治水プロジェクト」を推進します！



最上川では地域の特性・生業を踏まえた農業や雪対策と連携した対策を進めています

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策(ハード対策)

- 河道掘削、堤防整備、分水路整備、遊水地改良
- 利水ダム等25ダムでの事前放流等の実施
- 森林整備・治山対策・水田貯留(田んぼダム)

被害対象を減少させるための対策(住まい方の対策)

- 水害リスクを考慮した立地適正化計画作成及び居住誘導
- 土地利用規制・誘導(災害危険区域など)
- 雪対策と連携した氾濫被害の軽減(高床住宅など)

流域治水

住宅の高床化

2階以上に居住することで雪害・水害から守ります。

避難体制の強化(企業連携)

企業と連携して避難所として活用します。

被害の軽減、早期の復旧、復興のための対策(ソフト対策)

- 水害リスク情報の空白域の解消
- マイ・タイムライン普及促進
- まるごとまちごとハザードマップの推進
- 民間企業と連携した避難体制の強化

田んぼの活用(田んぼダム)

降った雨を田んぼで貯留します。